

日本で会える動物 【鳥類4】

地 地獄谷野猿公苑でも、運がよければ、いろいろな日本の野鳥に会うことができます。



タンチョウ **茶**

分類：ツル目ツル科

英名：Japanese Crane

学名：*Grus japonensis*

分布：ロシア（アムール川流域）、
中国東北部、朝鮮半島、
日本では北海道東部

全長：125～152cm

翼開長：2.4m

体重：6.3～9kg

生態：日本産鳥類中最大種のひとつで、
日本で繁殖する唯一の野生のツル。
雑食性で湿地の魚や水生昆虫や
草の種子などを食べる。
家族群が集まり小群をつくる。
頭頂の赤い部分は、皮膚が
裸出している。
国際自然保護連合（IUCN）の
レッドリストでは、絶滅危惧ⅠB類。

Photo: Chausuyama Zoo



マナツル **飯**

分類：ツル目ツル科

英名：White-necked Crane /
White-necked Crane

学名：*Grus vipio*

分布：【夏季】ロシア、モンゴル、中国、
【冬季】日本、朝鮮半島

全長：120～153cm

翼開長：200～210cm

体重：4.75kg～6.5kg

生態：日本には冬鳥としてやってくる。
全国から記録はあるが、
九州以外ではごく少数。
湿原や草原に生息し、雑食性で
魚や草の根や種子などを食べる。

Photo: Iida Zoo



ダイサギ **茶**

分類：ペリカン目サギ科

英名：Great Egret

学名：*Egretta alba*

分布：世界中の温帯、亜熱帯
（日本では本州、九州）

全長：90～102cm

翼開長：120～140cm

体重：0.7～1.2kg

生態：湿地、干潟、湖沼などで、
ゆっくり歩きながら魚・
カエルなどを捕まえて食べる。
ダイサギには4亜種あり、
日本では夏鳥として
チュウダイサギが、
冬鳥としてオオダイサギが
渡来する。高木の枝を集め
巣を作り、集団で繁殖する。

Photo: Chausuyama Zoo



Photo: Iida Zoo

チュウサギ **飯**

分類：ペリカン目サギ科

英名：Intermediate Egret

学名：*Ardea intermedia*

分布：アジア、アフリカ、
オーストラリアの温帯・熱帯

全長：68.5cm

翼開長：114cm

体重：440～630g

生態：ダイサギより一回り小さい
中型のサギ。日本では夏鳥で、
暖地では越冬もする。
ダイサギやコサギに比べ、
乾いた場所で主にバッタなどの
昆虫を採って食べる。



Photo: Johyama Zoo

コサギ **城**

分類：ペリカン目サギ科

英名：Little Egret

学名：*Egretta garzetta*

分布：アジア、アフリカ、
オーストラリアなどの
温帯、亜熱帯

全長：55～65cm

翼開長：90～105cm

体重：340～600g

生態：水田、河川、
湖沼にすみ、片脚を
震わし餌を追い出して
とる習性がある。
他のシラサギと違って、
指だけが黄色い。



Photo: Komoro Zoo

ゴイサギ **小**

分類：ペリカン目サギ科

英名：Black-crowned Night Heron

学名：*Nycticorax nycticorax*

分布：日本、ユーラシア、アフリカ、
北アメリカ、南アメリカなど

全長：58～65cm

翼開長：105～112cm

体重：400～800g

生態：夜性で、昼は水辺ややぶで眠り、
夕方から川や池などの水辺を
徘徊しながら魚、両生類などを
捕食する。